

2億6,626万円(一般会計)の 補正予算を可決

九月定例会

九月定例会は、九月十九日に招集され、十二日までの会期で開かれました。

今回の定例会(第六回)では、平成十八年度九月一般会計・各特別会計補正予算、神石高原町乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例について等、二十五議案が提案され、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では、十名の議員が当面する行政課題を質しました。

多くは災害復旧費

平成十八年度九月補正予算は、一般会計で二億六千六百二十六万円、特別会計で五千六百六十五万円増額され、それぞれ百六億四千三百二十九万円、六十四億三千三百七十七万円となりました。

主なものは、一般会計では、歳入で新たな普通交付税確定分として、一億三千六百九十五万円、油木商業集積地売

却収入として三千万円等が計上され、歳出面では本年七月一〜二日、十八〜十九日の梅雨集中豪雨による災害復旧費の三億七百九十一万円が計上されました。特別会計では、国民健康保険特別会計で、保険財政共同安定化事業の拠出金としての四千五百万円の計上が主なものです。

平成 18 年度補正予算明細表

単位：千円

会計名称	当初予算額	補正予算額(歳入歳出同額)		補正後予算額
		7~8月	9月	
一般会計	10,349,991	27,036	266,265	10,643,292
特別会計	6,376,519	0	56,653	6,433,172
国民健康保険特別会計(事業勘定)	1,271,231	0	53,655	1,324,886
“(診療施設勘定)	6,000	0	0	6,000
老人保健特別会計	2,532,839	0	0	2,352,839
介護保険特別会計(事業勘定)	1,704,311	0	270	1,704,581
“(介護サービス)	48,063	0	0	48,063
簡易水道事業特別会計	497,193	0	728	497,921
飲料水供給施設事業特別会計	35,028	0	0	35,028
農業集落排水事業特別会計	250,943	0	2,000	252,943
観光施設事業特別会計	30,811	0	0	30,811
分収育林事業特別会計	100	0	0	100
合 計	16,726,510	27,036	322,918	17,076,464



こんなことが 決まりました



平成 18 年度 9 月 補正予算明細表 (主なもの)

(単位：千円)

款	科 目	金額	説 明
総 務 費	行政財産管理費	2,741	測量設計委託料
民 生 費	社会福祉総務費	▲ 1,468	福祉タクシー精算分
衛 生 費	塵芥処理費	1,500	グリーンセンター油屋集会施設トイレ
	簡易水道費	▲ 16,000	繰出金
農林水産業費	農村総合整備事業費	31,520	県営中山間整備 (農道 2、防火水槽等)
	造林整備費	15,990	林業再構築プロジェクト (城山、父木野)
商 工 費	公 園 費	1,934	スコラ、星居山、紙ヒコーキタワー
土 木 費	道路新設改良費	26,564	県道整備 (13 路線)、単県町道整備等
消 防 費	消 防 施 設 費	▲ 9,700	中山間県営事業消防施設負担金
教 育 費	学 校 管 理 費	1,000	豊松中学校トイレ、油木中学校雨漏り
災 害 復 旧 費	農地・施設復旧費	232,438	施設 51、農地 34
	林道復旧費	21,032	4 カ所
	土木施設復旧費	54,440	7 カ所

そのほか、審議され議決された主なもの

- ◎人権擁護委員候補者の推薦について意見が求められ同意しました。
候補者は、神石高原町小野「前原 弘臣」さんと、階見の「佐伯 知省」さんです。
- ◎国民健康保険法等の一部を改正する法律が施行されたので助成額が改正されました。
1) 乳幼児医療 2) ひとり親家庭等 3) 老人 4) 重度心身障害者
また、出産一時金支給額が改正され、30 万円から 35 万円となりました。
- ◎障害者自立支援法の制定により、障害者相談支援事業を実施することになりました。
本町は、福山市に事務委託しました。